

## 次世代を牽引するオピニオンリーダー達が東京・熊本・福岡を訪問

### 未来の日米関係政策提言への発展を期待！

#### ～日米次世代パブリック・インテlectual・ネットワークプログラム訪日研修～

国際交流基金（JF）は、米国における知日層育成取り組みの一環として、モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団との共同で「日米次世代パブリック・インテlectual・ネットワーク事業」を実施しています。

今般、全米及び日本から選ばれた第7期生 14名を対象として6月に一週間の日程で訪日研修を行い、東京のほか熊本・福岡を訪問します。

本事業では、中堅・若手世代の研究者・実務家を対象に、政策関係者によるブリーフセッションや様々な研修、会合を約2年間にわたって実施します。参加者には、このプログラムを通じて深めた政策課題に関する知見とネットワークを基に、積極的に政策提言を行うことが期待されています。

6月9日（月）～14日（土）の訪日研修では、東京において政策関係者らと意見交換を行います。

熊本では、**木村敬 熊本県知事を表敬**、ホンダ熊本製作所の視察を行うほか、熊本大学で意見交換をします。

福岡では、**高島宗一郎 福岡市長を表敬**、また福岡グロースネクストを訪問し、官民共同型のスタートアップ支援施設の取り組みを視察します。

なお、過去の本プログラムにフェローとして参加した、**ミレヤ・ツリス氏**（ブルッキングス研究所 東アジア政策研究センター所長/「ネットワークパワー日本の台頭「失われた30年」論を超えて」著者）や**筒井清輝氏**（スタンフォード大学教授）などがプログラム・アドバイザーとして後進の指導にあたっています。

#### 前回（2023年）訪日研修の様子



小池百合子 東京都知事 表敬訪問



ディスカッションレクチャー

#### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)

## 記

事業名称：日米次世代パブリック・インテlectual・ネットワーク事業 第7期訪日研修

主催：モーリン・アンド・マイク・マンズフィールド財団（助成：国際交流基金）

開催日程：2025年6月9日（月）～6月14日（土）

9日（月）～11日（水）

東京にて政府機関、国会議員、経団連、スタートアップ企業、在京米国大使館、大学関係者らと意見交換。

12日（木）ホンダ熊本製作所見学。熊本大学関係者からの日本の半導体産業に関するブリーフィング。

**木村敬 熊本県知事表敬訪問。**

13日（金）在福岡米国領事館往訪。**高島宗一郎 福岡市長表敬訪問。**福岡グロースネクスト往訪。

14日（土）くまもと水循環・減災研究教育センター往訪等。

各訪問先でのご取材の可否については、現在調整中です。また、参加者の個別インタビューが可能です。詳細については、お手数ですが、国際交流基金 ブランド推進部広報課 [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp) までご連絡ください。

### <プログラム・アドバイザー>

#### 〔米側アドバイザー〕

スーザン・ファー（Susan Pharr）	ハーバード大学ライシャワー日本政治学教授
フィリップ・リップシー（Phillip Lipsy）	トロント大学教授／東京大学教授
ミレヤ・ソリス（Mireya Solís）	ブルッキングス研究所東アジア政策研究センター所長
筒井 清輝（Kiyoteru Tsutsui）	スタンフォード大学教授

#### 〔日本側アドバイザー〕

村田 晃嗣（Koji Murata）	同志社大学教授
五百旗頭 薫（Kaoru Iokibe）	東京大学教授

### <プログラム第7期生>

ティファニー・バーロウ（Tyffani Barlow）	米国空軍少佐 太平洋空軍本部 日本担当ディレクター
ジャスティン・チョク（Justin Chock）	米国海軍兵学校 上級講師
ジョーダン・ハムザウィ（Jordan Hamzawi）	ウイスコンシン大学オークレア校 政治学助教授
嘉数 悠子（Yuko Kakazu）	TMT 国際天文台教育普及マネージャー、天文学者
川口 航史（Hirofumi Kawaguchi）	慶應義塾大学 総合政策学部 准教授
カイラ・キタムラ（Kyla Kitamura）	米国議会調査局 国際貿易・金融アナリスト
小宮 理奈（Rina Komiya）	東京都立大学 社会人類学教室 博士後期課程、 内閣府 国際平和協力本部 事務局研究員
ジョー・マクレイノルズ（Joe McReynolds）	ベントンラボ 上級研究員
高橋 知子（Tomoko Takahashi）	京都大学 東南アジア地域研究研究所

### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)

寺岡 亜由美 (Ayumi Teraoka)  
ユンチェン・ティアン (Yunchen Tian)

ジェイコブ・ボーター (Jacob Vawter)  
スコット・ウィルバー (Scott Wilbur)  
ティモシー・ヤン (Timothy Yang)

コロンビア大学 ウェザーヘッド東アジア研究所 博士研究員  
セント・マーティンズ大学 政治学助教授、  
JF-日文研フェロー(2024-2026)  
米国国防総省 外務担当官  
米国通商代表部 日本担当ディレクター  
ジョージア大学 歴史学助教授、  
同大学アジア研究センター所長

### 国際交流基金の国際対話事業について

国際交流基金は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」「日本語教育」「日本研究・国際対話」を推進する独立行政法人です。

国際対話事業として、国を超えた共通テーマや課題についての共同作業から市民・青少年による相互理解交流まで、さまざまなレベルでの対話の促進と人材育成、人的ネットワークの形成に資する交流を展開しています。



JAPAN FOUNDATION  
国際交流基金

### 国際交流基金が展開する主な国際対話事業

- 研究支援・フェローシップ
  - 東南アジアパートナーシップ・プログラム (JFSEAP)
  - インド太平洋パートナーシップ・プログラム (JFIPP)
- 知見・知恵の共有・共創
  - 文化人短期招へい
  - 文芸対話プロジェクト「YOMU」
  - ウクライナ詩人 オスナップ・スリヴィンスキー氏招へい
- 相互理解
  - 日中 21 世紀交流事業
  - 日米草の根交流コーディネーター派遣 (JOI)
  - 日 ASEAN ユースフォーラム (TASK)
  - 日 ASEAN 中高教員交流

各事業の詳細は、JF 公式サイト 国際対話部ページをご覧ください。

<https://www.jpff.go.jp/j/project/intel/exchange/index.html>

### この件に関するお問い合わせ :

国際交流基金 ブランド推進部 広報課 (広報担当 : 福島、熊倉)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpff.go.jp](mailto:press@jpff.go.jp)

取材のお願い

---

## モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団について

---

生涯を通し米国のアジア理解を深め、アジア各国との関係を促進することに力を注いだマイク・マンズフィールド大使と、モーリーン・マンズフィールド大使夫人の意志に基づき 1983 年に設立された非営利団体です。

交流事業や対話事業、そして出版・広報の活動を通して、米国とアジアの指導者の間のネットワークを作り、公共政策に影響するような重要な課題を掘り下げ、アジアの国と人々について意識を高めていくことを目的としています。

公式サイト <https://mansfieldfdn.org/jp/>



THE MAUREEN AND MIKE  
MANSFIELD FOUNDATION

*Connecting People & Ideas to Advance Mutual Interests in U.S.-Asia Relations*

---

### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)